

住友コレクションが

かつて

展示会場で

放った輝き、

邸宅を

飾った彩り。

続・帰ってきた

(リニューアル記念名品展Ⅱ)

泉屋博古館

近代の美術、もうひとつの在り方

Grand Reopening Masterworks Exhibition II
Return of SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM
-Other Forms of Modern Art in Japan-

同時開催
ブロンズギャラリー
「中国青銅器の時代」



2025 4/26 [土] - 6/8 [日]

開館65年の

節目を迎える

この春、改修

工事を経て

装いを新たに

再始動します。

帰ってきた

(リニューアル記念名品展Ⅰ)

泉屋博古館

いにしえの至宝たち

同時開催
ブロンズギャラリー
「中国青銅器の時代」

Grand Reopening Masterworks Exhibition I
Return of SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM - Selected Masterpieces of Sumitomo Collection -



《毘沙門天像》、八丈山人安院様より真魚図、藤原俊成 仮名消息、《紫泥玉環式茶碗 萬豊順記型》、伊藤冲海堂白図、野々村仁清 白鶴香合、石柳、親音菩薩立像、《掛共蓋水指》、八丈山人安院様より叭々鳥図、上皇太子大歌仙絵切 藤原兼隆、椿椿山玉堂富貴 遊蝶 藻魚図
*展示替えあり

ちよつと懐かしくなった時代の建物を
もつと心地よく



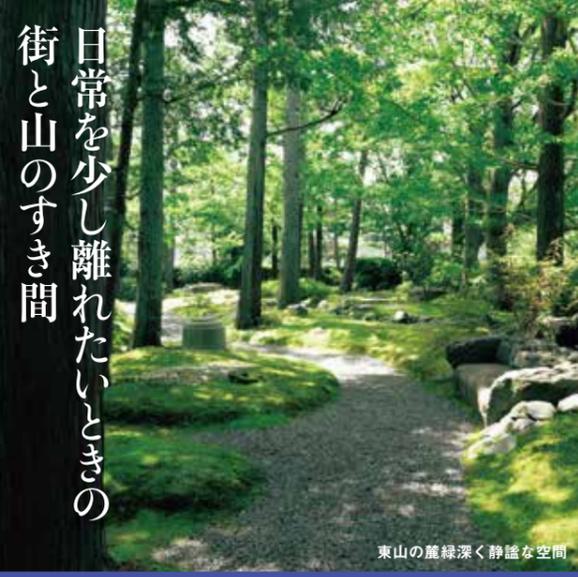
青銅器の
帰りを待つ
新しい
ケースたち

ミュージアムショップが誕生!
オリジナルグッズ開発中!

泉屋博古館

2025年4月
リニューアル
オープン

〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
Tel. 075-771-6411
HP <https://sen-oku.or.jp/kyoto>
アクセス
●京都市バス5、93、203、204系統
「東天王町」下車、東へ200m
●32系統「宮ノ前町」下車すく



東山の麓緑深く静謐な空間

季節は移ろう—それを実感する小部屋

読み方に戸惑う「せんおくはくこかん」。「泉屋」は江戸時代の住友の屋号、「博古」は「古に博く通じる」の意で九百年前の中国の青銅器図録にも題されました。それぞれの言葉と意思を受け継ぐ館名です。
[休館日] 月曜日 ● 月曜祝日の場合開館、次の平日休館 [開館時間] 10:00~17:00 (入館は16:30まで) [入館料] 一般1,000円、学生600円、18歳以下無料(要証明) ※記念名品展・ブロンズギャラリー両方ご覧いただけます ●20名以上は団体割引、障がい者手帳ご提示の方ならびに介助者の方1名は無料
主催:公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社、京都新聞 後援:京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局

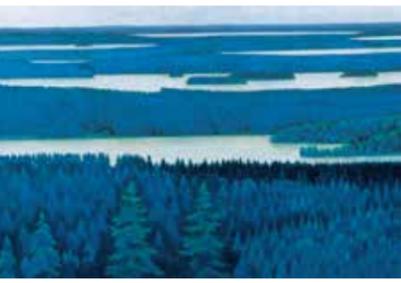
（リニューアル記念名品展Ⅱ） 続・帰ってきた 泉屋博古館



岸田劉生《塘芽帖》昭和3年(1928)頃



富田范溪《鯉鱗》大正3年(1914)



東山魁夷《スオミ》昭和38年(1963)

すべて泉屋博古館東京所蔵 展示替えあり

近代美術の名品
京都へ続々帰省

2025年6月21日(土)~8月3日(日)
近代の美術といえば、まず話題に上がるのが展覧会場を賑わせた大作の数々です。作家が新時代の表現を切り開くべく挑んだ展覧会出品作を、住友家当主もその冒険心を買って多数集めました。しかし、住友の近代美術はそれだけではありません。たとえ、来客をもてなす場を飾るための作品。注文した当主の美意識に込めようとする作家の挑戦に、客人の心も動いたはず。あるいは、仲間との交流で生み出された作品。江戸時代から続く文人趣味の土壌に育まれた作品には、同好の士が集ったときの居心地の良い空気が漂います。



山崎朝雲《竹林の山濤》大正元年(1912)



北村四海《陸》明治44年(1911)



原田西湖《乾坤再明図》明治36年(1903) 第5回内国勸業博覧会出品作



三代清風与平《青磁瓜虫彫文花瓶》明治36年(1903) 第5回内国勸業博覧会出品作

122年前の
大阪は天王寺。
そこは万博と
大阪を結びつける
はじまりだった?!
かつて博覧会を
彩った作品も登場!

会期中の催し
すべて入館料のみでご参加いただけます
当館講堂にて
講演会・レクチャーは当館webサイトに要予約

EXPO2025開催記念講演会
「博覧会と住友」
7月20日(日) 14:00~15:30
牧 知宏(住友史料館主席研究員)
予約制(6月21日 10:00受付開始)

スライドトーク「住友コレクションの
“美術家列伝”シーズン1
「やっぱり知りたい狩野芳崖」
6月28日(土)
椎野晃史(泉屋博古館東京主任学芸員)

「みんな知っている板谷波山」
7月5日(土)
森下愛子(泉屋博古館東京主任学芸員)
「だれも知らない河久保正名」
7月21日(月・祝)
野地耕一郎(泉屋博古館東京館長)

「知っている人は知っている野口小蘋」
7月26日(土)
田所 泰(泉屋博古館東京学芸員)
各回14:00~(約60分)
予約不要/当館受付にて整理券配布

展示解説
7月2日(水)、7月11日(金)、7月31日(木)
各回11:00~(約40分)
竹嶋康平(当館学芸員)
予約不要/当館受付にて整理券配布

名品展Ⅱの期間中
特製マップ片手に
自由にお楽しみ下さい。

名品展共通企画
ふらっと“泉屋八景”めぐり
館内のお勧めビューポイント・パワースポット8箇所をご紹介します。

学芸員ガイドツアー
5月9日(金)、6月4日(水)、7月18日(金) 各回11:00~/定員15名

2025年4月26日(土)~6月8日(日)
京都東山鹿ヶ谷の地にて開館以来
65年目を迎える2025年春、当館
は1年の改修工事を経て装いを新
たに再び始動します。記念の第一
弾は、一貫して活動の核としてきた
住友家伝来の美術品から精選して
紹介します。いにしえから名高い
逸品、時代とともに新たな価値が
見出された優品。いずれも、時に気
高く、時に優しく、出会う度に違っ
た表情を見せてくれます。観る人
の心に寄り添う不朽の住友コレク
ション、その奥深さに再び出会う機
会です。

また、
ここで
会えたね

特別講演会
「気づけばまたここへ
—僕が泉屋博古館に惹かれる理由」
5月17日(土) 14:00~15:00
松浦弥太郎(文筆家、編集者)

古書店主「暮らしの手帖」編集
長、ユニクロ「LifeWearStory
100」監修をはじめ、数々のメ
ディアで暮らしや仕事におけ
るたのしさを豊かき、学びに
ついで執筆、活動を続ける。
予約抽選制(受付期間4月13日~5月2日)

講演会
「住友青銅器コレクションと
泉屋博古館の歩み」
5月3日(土) 14:00~15:00
廣川 守(当館館長)
予約制(4月15日 10:00受付開始)

建築レクチャー
「建築史家とみる泉屋博古館1号館」
5月31日(土) 14:00~15:30
三宅拓也(京都工芸繊維大学助教)
予約制(4月15日 10:00受付開始)

展示解説
5月10日(土)、5月21日(水)
各回14:00~(約60分)
実方葉子(当館学芸部長)
予約不要/当館受付にて整理券配布

展示だけじゃない
建築・庭園の魅力を
再発見!!



重要文化財
八大人山人物像より猫図
(安永帖より猫図
清康熙33年
1694)
泉屋博古館
(貸替えあり)



伊藤若冲《海棠白巨図》江戸・18世紀 泉屋博古館



重要文化財
《赤銅仏立像》
北魏・太和22年(498)
泉屋博古館



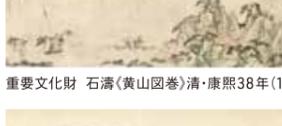
野々村仁清
《色絵龍田川水指》
江戸・17世紀
泉屋博古館東京



重要文化財 徐九方水月観音像・高麗 忠惠王10年至治3年(1323) 泉屋博古館



重要文化財 石濤《黄山図巻》清・康熙38年(1699) 泉屋博古館



吳春《蔬菜図巻》江戸・18世紀 泉屋博古館【巻替えあり】



紀元前から19世紀まで、館の代表作がずらりお出迎え

椿椿山《玉堂富貴・遊蝶・藻魚図》江戸・天保11年(1840) 泉屋博古館